

大田仁史先生からのメッセージ要旨(メモ・原田)

1級の皆様には多くのご負担をおかけしている。

9月には内閣府よりエイジレスの活動に対して連合会が表彰された。

シル・リハ事業は茨城県だけでなく次第に全国に展開されていく機運が見られる。

超高齢社会では1人でも多くの方が1日でも長く元気で過ごす必要がありシル・リハ活動は確実にその一翼を担う。

8000人をこえる指導士養成をしてきたがその6割が1級さんのお蔭です。

介護予防事業を包括的に考えると、健康増進から人生の終末にまで行わなければならない。皆さんに高齢者の健康教育の旗をふっていただくこと、その一方で要介護者の重度化予防に対してリハ関係職の専門家と協同で当たっていただくこと。そうすることが、この事業が介護予防のすべてに関与できることを実証できることになるだろう。1級さんには中心的な役割を果たしていただきたい。

平成29年10月30日

茨城県立健康プラザ 大田仁史